

立案昭和年月日  
決裁昭和年月日



海軍中佐若色伊三郎叙位取消並叙位日附  
變更の件

外三人名

昭和五年五月十四日裁可  
海軍省  
官内省

夕影雀



海軍中佐若色伊三郎外三十八名敘位取消並敘位日附變更の件

同三十八名

五月十四日



海軍中佐若色伊三郎外三十八名敘位取消並敘位日附變更の件  
右謹テ裁可ヲ仰ク  
昭和二十一年五月十四日  
内閣總理大臣男爵幣原喜重郎



月

日



内閣總理大臣

内閣書記官長

内閣事務官



海軍中佐若色伊三郎外三名叙位取消並叙位日付変更の件今般第二復負大臣から別紙のとほく奏請あり今更不都合ではあるが事實に己むを得ないと思われから取消上奏をして良しと思ふ

内閣

内閣



内閣

海軍中佐 正六位 右 伊三郎  
昭和二十年五月一日  
叙從五位  
石者頭香ノ通叙位發令相成候處昭和十九年十二月二十五  
日戰死致候ニ付テハ本叙位取消相成度恐懼  
謹テ 奏ス

内閣總理大臣



原 貞久

昭和二十一年 四月二十六日

第二復員大臣 男爵 幣 原 喜重



海 軍

内閣 復 吾 心 究

昭和二十年九月十五日  
敍正七位

海軍技術大尉 從七位 市原 治  
同 高 寄 欣 也

昭和二十年九月十五日  
敍正七位

海軍技術大尉 從七位 市原 治

右者各頭書ノ通敍位發令相成候處仁實、高寄海軍技術大尉ハ昭和二十年六月十三日、市原海軍技術大尉ハ同年六月十五日孰モ戰死致候ニ付本敍位取消相成度

恐懼

謹テ 奏ス



昭和二十一年五月十日

第二復員大臣 男爵幣原 喜重郎



内閣 二復 五一九

昭和二十年八月十五日 海軍少尉 杉本芳樹

右者頭書ノ通給位發令相成候處昭和二十年六月十五日戰死致候ニ付本給位取消相成候恐懼

謹テ 奏ス

昭和二十一年五月十日

第二復員大臣 男爵幣原 喜重郎



海軍

二復五二

昭和二十年八月十五日

海軍少尉

公

莊

惟

利

右者頭書ノ通知位發令相成候處昭和十九年十月二十五日戰死候ニ付本終位取消相成候恐懼

謹テ 奏ス

昭和二十一年五月十日

第二復員大臣

男 野 格

原

喜

重



海

軍



内閣人二復五三四

昭和二十年九月十五日

海軍中尉 正八位

根本道雄

昭和二十年八月十五日

海軍少尉

柏木英一

昭和二十年九月十五日

海軍中尉 正八位

阿部仁太郎

昭和二十年九月十五日

海軍中尉 正八位

佐藤定三

昭和二十年九月十五日

海軍中尉 正八位

丹羽

海軍



終昭和二十年九月十五日 海軍中尉 正八位 土山忠英

終昭和二十年九月十五日 海軍中尉 正八位 堀江三郎

終昭和二十年八月十五日 海軍少尉 岡昌彦

右者各頭者ノ通終位發令相成候處根本海軍中尉ハ昭和二十年三月九日、柏木海軍少尉ハ同年三月十七日、阿部海軍中尉ハ同年四月六日、佐藤海軍中尉ハ同年四月十一日、丹羽海軍中尉ハ同年四月十三日、土山海軍中尉ハ同年

五月九日、堀江海軍中尉ハ同年六月二十四日、岡海軍少尉ハ同年七月二十日孰モ戰死致候ニ付本終位取消相成候  
恐懼

謹テ 奏ス

昭和二十一年五月十日

第二復員大臣男爵 幣原 喜重郎



海軍



内閣人復 五ニク

昭和二十年九月十五日 海軍中尉 正八位 太田 省

右者頭書ノ通銜位發令相成候處昭和二十年八月十九日戰死致候ニ付本銜位取消相成度恐懼

謹テ 奏ス

昭和二十一年五月十日

第二復員大臣 男爵 幣原 喜重郎



海軍



内閣人復 五二九

昭和二十年九月十五日

海軍中尉

正八位

本

多

延

金

右者頭書ノ通給位發令相成候處昭和二十年三月十日戰死  
致候ニ付本給位取消相成度恐懼

謹テ 奏ス

昭和二十一年五月十日

第二復員大臣

男爵 幣原

原

喜重郎

郎



海

軍



二復 五三一

敍 昭和二十年四月二日 海軍中尉 正八位 中 嶋 耕 一  
右者頭書ノ通給位發令相成候處昭和二十年四月一日戰  
死致候ニ付日附ラ戰死ノ日ノ前日ニ更正相成候處恐懼  
謹テ 奏ス

昭和二十一年五月ヤ日

第二復員大臣 男爵 幣 原 喜 藏 郎



海 軍



内閣人復職五三三

昭和二十年九月十五日  
海軍中尉 正八位 星 貞 男  
同 同 青 木 正 美

昭和二十年八月十五日  
海軍少尉 石 橋 健 一

昭和二十年八月十五日  
海軍少尉 森 忠 孝

昭和二十年九月十五日  
海軍中尉 正八位 二 宮 秀 正

昭和二十年八月十五日  
海軍少尉 矢 野 久 重

海軍



右者各頭書ノ通被位發令相成候處是、將本海軍中尉ハ昭和二十年三月三十一日、石橋海軍少尉ハ同年四月六日、森海軍少尉ハ同年四月十日、二宮海軍中尉、矢野海軍少尉ハ同年四月二十日孰モ戦死候候ニ付本級位取消相成度

昭和二十一年五月十日

第二復員大臣 男爵 幣原 喜重郎



二復 四七

昭和二十年四月二日 從七位 海軍中尉 正八位 一木長秀	昭和二十年八月十五日 正八位 海軍少尉 松田清	昭和二十年八月十五日 正八位 海軍少尉 土田敏二	昭和二十年八月十五日 正八位 海軍少尉 宮島實	昭和二十年八月十五日 正八位 海軍少尉 德大寺純明
-----------------------------------------	----------------------------------	-----------------------------------	----------------------------------	------------------------------------

海軍



昭和二十年八月十五日  
正 八 位

海軍少尉

岩 橋 敏 彦

同

同

近 藤 俊 雄

昭和二十年八月十五日  
正 八 位

海軍少尉

永 井 雅 晴

右者各頭書ノ通敍位發令相成候處一木海軍中尉ハ昭和十九年十二月三十一日、松田海軍少尉ハ昭和二十年五月二十五日、土田海軍少尉ハ同年五月三十日、宮島海軍少尉ハ同年六月四日、徳大寺海軍少尉ハ同年六月九日、岩橋近藤海軍少尉ハ同年六月十日、永井海軍少尉ハ同年六月

二十五日孰モ戦死致候ニ付本彙録取消相成度恐懼

請テ 奏ス

昭和二十一年五月十日

第二復員大臣 男 幣 原 喜 重



海

軍



内閣人二復 四四八

昭和二十年八月十五日

海軍少尉

細谷真三郎

右者頭書ノ通叙位發令相成候處昭和二十年八月十五日  
既死ノ日ノ前日ニ更生相成度恐懼  
謹テ奏ス

昭和二十一年五月十日

第二復員大臣

男爵幣原

原

喜重

郎



海

軍



昭和十七年九月十日  
敍 正七位

海軍大尉 從七位 飯塚

豊

昭和十八年一月二十九日  
敍 從七位

海軍中尉 正八位 及川

晃

昭和十九年十月二十五日  
敍 從六位

海軍少佐 正七位 後藤 三郎

右者各頭書ノ通時殊進級ニ對スル相當位トシテ敍位發令  
相成候處今發生存シテコト判明致候ニ付本敍位取消相  
成度恐懼

謹テ 奏ス

海 軍



昭和二十一年五月十日

第二復員大臣 男爵 幣原 喜重郎



内閣人復 五二〇

昭和十九年八月二日  
綬 從七位

海軍中尉 正八位

永田 義一

右者頭書ノ通 特殊進級ニ對スル相當位トシテ 綬位發令  
相成候處今般生存シアルト判明致候ニ付本綬位取消  
相成候恐懼

謹テ 奏ス

昭和二十一年五月十日

第二復員大臣 男爵 幣原 喜重郎



海軍



二復  
五三

昭和十九年十月二十五日  
海軍中尉 正八位 藤家 勉

右者頭書ノ通稱殊進級ニ對スル相當位トシテ終位發令相  
成候處今般生存シアルト判明致候ニ付本終位取消相成  
候恐懼

謹テ 奏ス

昭和二十一年五月十日

第二復員大臣 男爵 幣原 喜重郎



海軍



昭和十九年十一月二十四日

海軍少佐 正七位 尾崎修平

海軍大尉 從七位 林貫之

右者各頭書ノ通特殊進級ニ對スル相當位トシテ  
敍位發令相成候處孰セ令般生存シヤルコト判明  
致候ニ付本敍位取消相成度恐懼

謹テ奏ス

昭和二十一年四月十九日



海軍

第二復員大臣 男爵 幣原 喜重郎



二復人事局扶秘第十六號ノニ

昭和二十一年四月二十六日

第二復員省人事局長

内閣官房人事課長 殿



叙位取消ニ關スル件照會

四月二十六日二復秘人第一〇一三號叙位取消ノ件上奏相成候左記ノ者ハ  
今次戦争作戦從事中頭書ノ通戦死致候處通信連絡遅延ノ爲戦死報告叙  
位發令後トナリタルモノニ有之候條取消方可然取計相成度

記



昭和十九年十二月二十五日 ヒアク島方面戦死 海軍中佐 若 色 伊三郎  
(昭和二十年四月十一日進達海秘人第七六七號海軍大佐田中義雄以下自五名中二枚目表)

(終)

昭和二十一年 五月 十日

第二復員省人事局長

内閣官房人事課長 齋藤

信長印

敘位取消ニ關スル件照會

五月 十日 日二復秘人第一〇二五 號敘位取消ノ件上奏相成候左記ノ

者ハ各頭書ノ通大東亞戰爭作戦從事中孰モ戰死致候處通信連絡遲延ノ  
爲戰死報告敘位發令後トナリタルモノニ有之候條取消方可然取計相成

記

昭和二十年六月十三日 沖繩方面 戦死 海軍技術大尉 仁 賀 長 夫

昭和二十年八月三十一日進達海秘人第二三七四號海軍技術大尉石橋茂男外一千拾名中

十九枚目裏



昭和二十年六月十三日 沖縄方面 戦死 海軍技術大尉 島崎 欣 作

昭和二十年八月三十一日 進達海秘人第二三七四號海軍技術大尉石橋茂男外一千拾名中 十七枚目表

昭和二十年六月十五日 沖縄方面 戦死 海軍技術大尉 市原 治

昭和二十年八月三十一日 進達海秘人第二三七四號海軍技術大尉石橋茂男外一千拾名中

三十八枚目表

(終)

昭和二十年六月十三日 沖縄方面 戦死 海軍技術大尉 島崎 欣 作  
昭和二十年八月三十一日 進達海秘人第二三七四號海軍技術大尉石橋茂男外一千拾名中  
昭和二十年六月十五日 沖縄方面 戦死 海軍技術大尉 市原 治  
昭和二十年八月三十一日 進達海秘人第二三七四號海軍技術大尉石橋茂男外一千拾名中

昭和二十一年五月十日

内閣官房人事課長 殿

第二復員省人事局



叙位取消ニ關スル件

五月十日二復員省第一〇三七號叙位取消ノ件上奏相成候左記ノ者ハ頭書ノ通  
今次戦争中戦死致候處通信連絡途切ノ爲戦死報告叙位發令後トナリ  
タルモノニ有之候條取消方可然取計相成度

記

昭和二十年六月十五日 沖縄方面戦死 海軍少尉 杉 本 芳 樹

(昭和二十年八月八日進達海秘人第一八七三號海軍少尉藤本伸哉外一千二百七十四名中十三枚目)

(終)



昭和二十一年五月十日

内閣官房人事課長 殿

第二復員省人事局



終位取消ニ關スル件照會

五月十日 日二復員省人事課長殿  
終位取消ニ關スル件照會  
戦争作戦從事中戦死致候處通信連絡遅延ノ爲戦死報告終位發令後トナリタルモノニ有之候條取消方可然取計相成度

記

昭和十九年十月二十五日

比島沖 戦死

海軍少尉

公

莊

惟

利

(昭和二十年八月八日進達海秘人第一八七三號海軍少尉藤本伸哉外一千二百七十四名中九枚目裏)

(終)



昭和二十一年五月十日

内閣官房人事課長 殿

第二復員省人事局長



終位取消ニ關スル件照會

五月十日 日二復員省人事局長殿  
今次戦争作戦從事中孰モ戦死致候處通信連絡遅延ノ爲戰死報告終位發令後トナリタルモノニ有之候條取消方可然取計相成候

記

昭和二十年三月九日 海方面 戦死 海軍中尉 根本 道雄 (昭和二十年八月三十日進達海軍大尉平瀬親榮外二千七十九名中二十四枚用表)

昭和二十年三月十七日 琉球方面 戦死 海軍少尉 相木 英一 (昭和二十年八月八日進達海軍大尉丸山 昂外三千二百六十四名中百五十七枚用表)

昭和二十年四月六日 臺灣方面 戦死 海軍中尉 阿部 仁太郎 (昭和二十年八月三十日進達海軍大尉平藤親榮外二千七十九名中十一枚用表)

昭和二十年四月十一日 比島方面 戦死 海軍中尉 佐藤 定三 (昭和二十年四月十一日 比島方面 戦死 海軍中尉 佐藤 定三 九十二枚用表)



昭和二十年八月三十日  
右 昭 海 方 面 戰 死 海 軍 中 尉 土 山 十 五 枚 日 章

昭和二十年六月二十四日  
右 昭 沖 繩 方 面 戰 死 海 軍 中 尉 堀 江 三 十 七 枚 日 章

昭和二十年七月二十日  
昭 比 島 方 面 戰 死 海 軍 少 尉 岡 昌 一 千 二 百 七 十 四 名 中 九 枚 日 章

(終)

昭和二十一年五月十日

内閣官房人事課長

第二復員省人事局

局長印

殺位取消ニ關スル件照會

五月十日 日二復員省第一〇三號殺位取消ノ件上奏相成候左記ノ者ハ頭書ノ通今次  
戰爭作戦從事中戦死致候處通信連絡遅延ノ爲戦死報告殺位發令後トナリタルモノ  
ニ有之候條取消方可然取計相成度

記

昭和二十年八月十九日 臺灣方面 戦死 海軍中尉 太田 山  
（昭和二十年八月三十日進達海秘人第二三七〇號海軍大尉平瀬輝彦外二千七十九名中十三枚目表）

（終）



内閣官房人事課長 殿

第二復員省人事局

局長 印

終位取消ニ關スル件照會

五月十日 日二復秘人第一〇三六號終位取消ノ件上奏相成候左記ノ者ハ頭書ノ通今次  
戰爭作戦從事中戦死致候處通信連絡遲延ノ爲戦死報告終位發令後トナリタルモノ  
ニ右之候條取消方可然取計相成度

記

昭和二十年三月十日 比島方面 戦死 海軍中尉 本多 延 金  
昭和二十年八月三十日 進達海秘人第二三七〇號海軍大尉平瀬親榮外二千七十九名中九十八枚目表

(終)

内閣官房人事課長 殿

第二復員省人事局長

局長 西

（ 綏位日附更正ニ關スル件照會 ）

レ月イ日二復員省人事局長ノ件上奏相成候左記ノ者ハ頭書  
ノ通今次戦争作戦從事中戦死致候處通信連絡遅延ノ爲戦死報告綏位發令後ト  
ナリタルモノニ有之候條發令日附更正方可然取計相成度

記

昭和二十年四月一日 南西諸島方面戦死 海軍中尉 中 嶋 耕 一

（昭和二十年三月十九日進達海秘人第六六二號海軍大尉池田佐重以下千百五十一名中二十一枚目裏）

（終）



昭和二十一年五月十日

第二課員省人事務局

内閣官房人庫課長 殿

局長印

敘位取消ニ關スル件照會

五月十日 日二復秘人第(一)三號敘位取消ノ件上奉相成候左記ノ者ハ各頭其ノ通今次  
戦争作戦從事中孰モ戦死致候處通信連絡遅延ノ爲戦死報告敘位發令後トナリタル  
モノニ有之候條取消方可然取計相成度

記

昭和二十年三月三十一日 ルソフ島 戦死 海軍中尉 星 貞 男  
(昭和二十年八月三十日進達海秘人第二三七〇號海軍大尉平岡親榮外二千七十九名中八十八枚目裏)

同 同 同 青 木 正 美  
(右同)

昭和二十年四月六日 ルソフ島 戦死 海軍少尉 石 橋 健 一  
(昭和二十年八月八日進達海秘人第一八七三號海軍少尉藤本伸哉外一千二百七十四名中二十八枚目裏)

同 同 同 忠 孝  
(右同) 五十八枚目裏)

昭和二十年四月二十日 同 海軍中尉 二 宮 秀 正  
(昭和二十年八月二十日進達海秘人第二三七〇號海軍大尉平岡親榮外二千七十九名中九十七枚目裏)

昭和二十一年八月八日  
（終）



昭和二十一年五月十日  
内閣官房人事課長 殿

第二種員外官  
局長 印

敍位取消ニ關スル件照會

五月十日 日二復秘人第百六十八號 敍位取消ノ件上奏相成候左記ノ者ハ各頭書  
ノ新令次 戰爭作戦從事中孰モ戰死發候處通信連絡遅延ノ爲戰死報告敍位  
發令後トナリタルモノニ有之候條取消方可然取計相成度

昭和十九年十二月三十一日 ベリリコ島方面戰死 海軍中尉 一 木 長 秀

昭和二十年三月十九日 進達海秘人第六六二號海軍大尉池田佐重以下千五百五十一名中五十七枚目表

昭和二十年五月二十五日 沖繩方面戰死 海軍少尉 松 田 清

昭和二十年八月八日 進達海秘人第一八七四號海軍少尉丸山昂外三千二百六十四名中七十六枚目表

昭和二十年五月三十日 同 土 田 敏 二

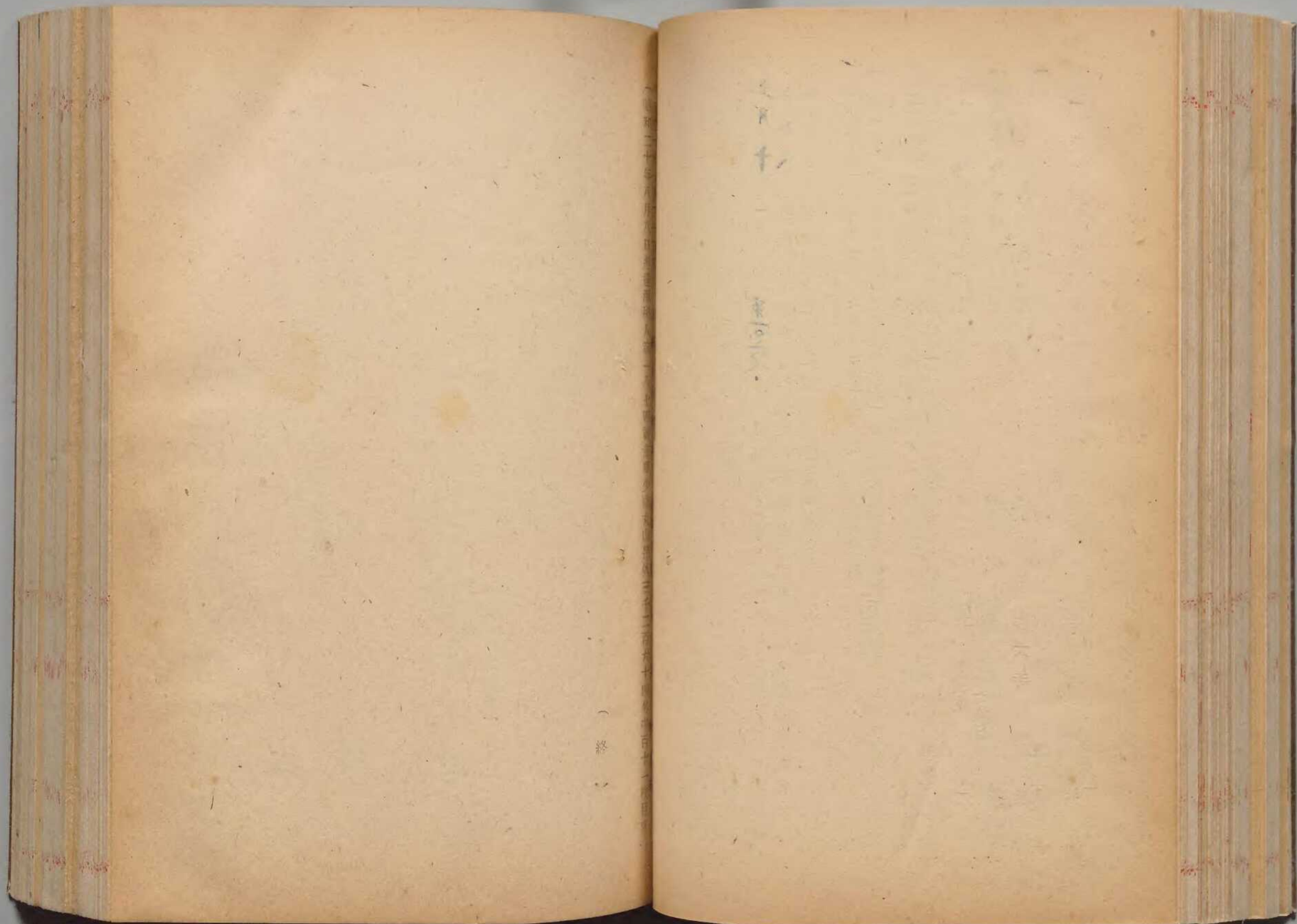
昭和二十年六月四日 同 宮 七 七十六枚目表 九十六枚目表

昭和二十年六月九日 同 德 大 寺 純 五十六枚目表

昭和二十年六月十日 同 岩 橋 敏 七十一枚目表

同 同 新 藤 俊 百六枚目表

同 同 同 同 同





昭和二十一年五月十一日

内閣官房人事課長 殿

第二復員省人事課長



叙位日附更正ニ關スル件照會

五月十一日二復員省第二〇六九號叙位日附更正ノ件上奏相成候左記ノ者ハ  
頭書ノ通令次戰爭作戦從事中戰死致候處通信連絡遅延ノ爲戰死報告叙  
位發令後トナリタルモノニ有之候條發令日附更正方可然取計相成度

記

昭和二十年八月十五日 比島方面戰死 海軍少尉 細谷 眞三郎

(昭和二十年八月八日進達海軍第一八七四號海軍少尉丸山昂外三千二百六十四名中百四十七  
枚目裏)

(終)

昭和二十一年五月十日

内閣官房人権部長 附

第二復員省人権部長 附

第二復員省人権部長 附

殺位取消ニ關スル件照會

月 日二復員人権 號殺位取消ノ件上奏相成候左記ノ者ハ各別紙  
記載ノ通般死因日進達之ニ對スル相當位發令相成候處終戦ニ伴ヒ生存シテ  
ルコト判明致候ニ付特殊進達取消相成候條本殺位取消方可然備取計相成候

記

海軍大尉 飯塚

豊 (昭和十八年五月三日進達) 海軍人第四七一號

海軍中尉 及川

晃 (昭和十八年三月十五日進達) 海軍人第二八〇號

海軍少佐 後藤

郎 (昭和二十一年一月二十四日進達) 海軍人第四〇七號

(終)





昭和二十一年五月十日

内閣官房人事課長 殿

籍位取消ニ關スル件照會

第二復員省人事局



上月十日 第二復員省第一〇三九號籍位取消ノ件上奏相成候左記ノ者ハ戦死ト認定  
處理セラレアリシ處終戦後生存シアルコト判明今般内地ニ歸差シタルニ付前  
記特殊進級取消相成候條本籍位取消方可然取計相成度

記

海軍中尉

永田 義一

一

(昭和二十年七月二十日進達)  
第一六五九號

(終)



昭和二十一年五月十日

内閣官房人事課長 殿

第二復員省人事局



総位取消ニ關スル件照會

五月十日 日二復員省人事局第一〇一〇一號総位取消ノ件上奏相成候左記ノ者ハ戰死ト認定セラレアリシ處終戦後生存セルコト判明今般内地ニ歸着シタルニ付前記特殊進級取消相成候條本総位取消方可然取計相成候

記

海軍中尉 藤 家

勉 (昭和二十一年一月二十四日進達)

(終)

昭和二十一年四月十九日

第二復員省人事局長

内閣官房人事課長 殿

高長印

叙位取消ニ關スル件照會

四月十九日ニ復員省人事局長殿  
 叙ニ對スル相續位トシテ尾崎海軍少佐ハ昭和十九年十一月二  
 十四日附從六位、林海軍大尉ハ昭和二十年七月二十日附正七  
 位發令相成候處石ハ比島竝ニ台灣方面ニ於テ米艦沈没ノ際行  
 方不明トナリ萬生存ノ見込無キモノトシテ戦死ト認定處理サ  
 ラレタルモ終戦ニ伴ヒ生存シアルコト判明致候ニ付前記特殊  
 進級取消相成候條本叙位取消方可然取計相成度

記

海軍少佐

尾崎

修

平

（昭和二十年九月四日進達）

海軍大尉

林

賈

之

（昭和二十年十二月十五日進達）

二復員省人事課長

九四

號

進達

（終）

（終）



二復秘人第一〇一三號

昭和二十一年四月二十六日

第二復旨大臣 男爵 幣原 喜重

内閣総理大臣 男爵 幣原 喜重 郎 殿

海軍中佐 右色伊三郎 叙位取消ノ件 別紙上 奏 旨 進 達 ス

(終)

海軍



官  
報  
登  
載

二復秘人第一〇二五號

昭和二十一年五月十日

第~~二~~復員大臣男爵幣原喜重郎  
內閣總理大臣男爵幣原喜重郎殿



海軍技術大副仁賀長夫外二名叙位取消ノ件別紙上奏書進達ス

(終)



二復秘人第一〇三七號

昭和二十一年 五月十日

第二復員大臣 男爵 幣原 喜重郎



内閣總理大臣 男爵 幣原 喜重郎

海軍少尉 杉本 芳樹 叙位取消ノ件別紙上奏書進達ス

(終)

海

軍

二復秘人第一〇四三號

昭和二十一年五月十日

第二復員大臣 男爵 幣原 喜重郎



内閣総理大臣 男爵 幣原 喜重郎 殿

海軍少尉金莊惟利給位取消ノ件別紙上奏書進達ス

(終)

海軍



二復秘人第1007號

昭和二十一年五月十日

第二復旨大臣 男爵 幣原 喜重郎



内閣總理大臣 男爵 幣原 喜重郎 殿

海軍中尉根本道雄外七名終位取消ノ件別紙上奏書進達ス

(終)

海軍

二復秘人第1053號

昭和二十一年五月十日

第二復員大臣 男爵 幣原 喜重郎



内閣總理大臣 男爵 幣原 喜重郎 殿

海軍中尉 太田 省終 位取消ノ件別紙上奏書進達ス

(終)

海軍



二復秘人第一〇五六號

昭和二十一年五月十日

第二復員大臣 男爵幣原 喜重郎



内閣總理大臣 男爵幣原 喜重郎 殿

海軍中尉本多勉金給位取消ノ件別紙上奏書進呈ス

(終)

海軍

二復秘人第1059號

昭和二十一年五月十日

第二復員大臣 男爵幣原 喜重郎



内閣總理大臣 男爵幣原 喜重郎 殿

海軍中尉中嶋新一 殺傷日爾更正ノ件別紙上奏書進達ス

(終)

海

軍



二復社人第一〇三三號

昭和二十一年五月 十日

第二復社大臣 男爵 幣原 喜重郎



内閣總理大臣 男爵 幣原 喜重郎 殿

海軍中尉 尾 貞男 从五名 被檢校取消ノ件 別紙 七 奉 呈 進 達 ス

海 軍

不官  
登  
載

二復員人第一〇六

昭和二十一年五月十日

第二復員大臣 男爵 幣原 喜重郎



内閣總理大臣 男爵 幣原 喜重郎

海軍少尉一木長秀外七名叙位取消ノ行別紙上奏書送達ス

(終)

海軍



不  
登  
記

二復役人第一〇六九

昭和二十一年五月十日

第二復員大臣 男 幣原 喜重郎



内閣総理大臣 男 幣原 喜重郎

海軍少尉 細谷 真三郎 敬位 日附 貞正ノ件 別紙上奏書 進達云

(終)

海軍

一海軍人選 10X九

昭和二十一年五月十日

海軍大臣 海軍省 海軍部



内閣總理大臣 海軍省 海軍部

海軍大臣 海軍省 海軍部 海軍大臣 海軍省 海軍部

(終)

海軍



二復税人第一〇三九號

昭和二十一年五月十日

第一復昌大臣 男爵 幣原 喜重郎



内閣総理大臣 男爵 幣原 喜重郎 殿

海軍中尉永田義一給位取消ノ件別紙上奏書進達ス

(終)

海

軍

二復秘人第1001番

昭和二十一年五月十日

第二復員大臣 男爵幣原 喜重郎



内閣總理大臣 男爵幣原 喜重郎 殿

海軍中尉藤家 知経位取消、件別紙上奏書送達ス

(終)

海軍



二復秘人第一〇四號

昭和二十一年四月十九日

第二復員大臣 男爵 幣原 喜重郎



内閣總理大臣 男爵 幣原 喜重郎 殿

海軍少佐尾崎修平外一名級位取消ノ件別紙上矣書進達  
ス

( 終 )



九

立案 昭和 年 月 日  
決裁 昭和 年 月 日

海軍省



宗秩家親



海軍主計大尉藤井滋外七十一名  
叙位取消及叙位日附変更の件

昭和五年三月八日  
海軍省

官内省

海軍